

共通：熊本市現代美術館の管理運営業務 【令和3年度実績一覧】

令和3年度全館入場者数：75,107人（開館日数：253日：4月27日～6月29日（54日間）新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館）

ア 美術館にずっと居たくなる交流・サービス業務

1 美術館の基本的な管理・運営業務（居場所づくり）

内 容				
来館者サービス・ニーズ調査・対応等	美術館マネジメント	来館者案内、電話・メールの問い合わせ、サービス、館内警備、入場者・入場料管理・分析等		
		アンケート実施・集計・回答等	153件	
		朝礼（毎日）、職員ミーティング（週1）、館内スタッフ（月1）等による情報共有		
新型コロナウイルス感染拡大防止対策	-	行政との連絡調整 実施予定の事業や館内の施設などのリスクの検証 定期的に館内を消毒・入場者の検温及び連絡先の記載・空気清浄機の設置 事業中止に伴う対応（中止・延期・延長、映像制作等）検討 休館時の情報発信 熊本県のリスクレベルに対応した入場数の制限を実施	職員全員	
外部審議会等	-	一次年度以降の審議員の選任、審議会の進め方を検証		
研修	9月15日、16日、17日 2022年2月7日、8日	ミュージアム・エデュケーション研修	オンライン（主催：文化庁、共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、葛飾区郷土と天文の博物館）	岩崎(美)
	10月8日	美術館・博物館 de 園芸療法	佐賀県立博物館・美術館（主催：九州産業大学博物館）	岩崎(美)
	10月11日	恐竜博物館 de 音楽療法	「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会	丸吉
	11月1日	博物館・民俗資料館de回想法	時津町民俗資料館（主催：九州産業大学博物館）	坂本
	11月1日	文化財IPMコーディネータ資格更新研修・試験（コロナ禍対応型）	公益財団法人文化財虫菌害研究所	杉谷
	2022年1月21日 1月31日、2月12日	監視員研修会	職員による研修（岩崎千、松本、草津、中川）	監視員
	1月28-30日	文化庁現代アートワークショップ	福岡アジア美術館（主催：日本現代アート委員会【文化庁アートプラットフォーム事業】）	佐々木
	3月10日	なぜいま、地域美術を研究するのか—「地方」への視点と地域美術研究の実践例	オンライン（主催：一般社団法人 全国美術館会議）	佐々木
現場実習受け入れ	3月7日	KOCあおぞら高等学院1名		
	ナイスライ（中学生職場体験）		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できず	

内 容 (つづき)		
施設管理	ホームギャラリー管理・運営	開架書籍の整理
		問い合わせへの対応 (レファレンス)
	キッズファクトリー、子育てひろばの管理・運営	子育てひろばの運営協力
	花壇 (正面玄関外) の管理、苗の植え替え	熊本支援学校高等部の再編により農芸班の活動中止
	施設貸出 (予約・設備準備・支払等) ※収益事業再掲	会議研修室 (112件)
		アートロフト (34件)
	施設・設備の管理、点検、修繕等	セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等 設備修繕 (8件)
美術館スタッフによるミュージアムIPM	・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置によるモニタリング ・収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング (掃除機、ドライワイパー使用) ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室 (G I、G II) の展示期間中のデジタルロガー計測 ・館内の飲食についてのマニュアル作成	

## イ 美術館にもっと来たく交流・サービス

### 1 情報発信

内 容	分 類	詳 細	
美術館や事業の広報	発信	美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
		展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
		ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等 (レンタルサーバ含む) 熊本市現代美術館 <a href="https://www.camk.jp">https://www.camk.jp</a>
		SNSによる情報発信	美術館の出来事をリアルタイム・広範囲に発信・拡散 ・Twitter : @camk_kumamoto ・Facebook : 熊本市現代美術館 ・Instagram : camk_kumamoto ・Youtube : 熊本市現代美術館
	提供	メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
		紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
		ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791 (週1回レギュラー)
		市政だより、市facebook等	記事提供

### 2 市民主体の交流・サービス (たまり場機能)

(1) ボランティア活動等 (日常) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部で活動中止、活動形態の変更、休止期間あり

種 類	活 動 内 容	人 数 (内 訳)	合 計 人 数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	(27人)	151人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	(11人)	
資料整理	新聞等資料のチェック、切り抜き等	(13人)	
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	(31人)	
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	(45人)	
読みがたり	絵本などの読みがたり	(18人)	
イベント・展示作業補助	展覧会の作品展示作業補助、イベント補助等	(6人)	

#### (2) ボランティア研修等

研 修 等	活 動 内 容	開 催 日	参 加 人 数
-	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-	-
合 計			0人

### 3 多様なジャンルのイベント

#### (1) 映画・映像イベント

種別	内容		開催日	参加人数
定例映画上映会	月曜ロードショー	毎週月曜 14:00-、17:00-の2回 上映権付の映画上映	27回/年（毎週月曜日） ※一部中止	838人
合計				838人

#### (2) 音楽・朗読イベント

種別	内容		開催日	参加人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート	当館のピアノボランティアによるピアノ演奏。ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施	56回/年 ※新型コロナウイルス感染対策のため活動休止期間あり	350人
朗読イベント	詩の朗読会	毎月テーマを決めて自作の詩を発表しあう詩の朗読会（飛び入り参加も可）	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため通年で中止	—
合計				350人

#### (3) お楽しみイベント

種別	内容		開催日	参加人数
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など	第126回	10月13日	2人
		第127回	11月13日	2人
		第128回	12月4日	10人
子育てひろば ワークショップ	おはなし会を親子あそび	転入者とその子どもを対象に自己紹介やゲームで交流する、出会いの場づくり	4月22日	32人
	親子でベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子でスキンシップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	ハイハイ赤ちゃんのためのリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ（1歳以下編）	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子で楽しむアート体験	身近なモノ・材料を使って行うアート体験型ワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子で楽しくおもちゃづくり	親子でおもちゃを作る体験を通して交流と創造力を育むワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子でふれあい音楽遊び	親子でのふれあいを大切にしたい音楽遊び	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	親子でベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子でスキンシップ	10月21日	20人
	親子で楽しむ陶芸体験	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	11月18日	18人
	親子でミニアルバムづくり	親子で協力してミニアルバムの制作に挑戦するワークショップ	12月23日	20人
	親子でリフレッシュヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	英語であそぼう！ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
親子でふれあい音楽遊び	親子でのふれあいを大切にしたい音楽遊び	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	
合計				104人

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業 【令和3年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー（ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会）

(1) ギャラリーⅠ・Ⅱ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
段々降りてゆく 九州の地に根を張る7組の表現者	九州を拠点にし、自らの生きる環境に根差した問題意識を持って主体的な活動を行う同時代の表現者7組を紹介。各地で展開される作家たちの実践例を通して、九州の環境と状況に即した芸術や表現者のあり方を探った。	4/1-6/13（うち23日間開場） ※4/27-6/13（41日間）閉場	894人
テオ・ヤンセン展	オランダのアーティスト、テオ・ヤンセンによって生み出された風を動力源として砂浜を疾駆する「ストランド・ピースト」の展示。実際に動く様子も体感できる展覧会。	7/3-9/12（62日間）	30,513人
こわいな！恐怖の美術館	熊本地震より5年、コロナ禍の最中に行う展覧会として、「恐怖」を各出品作家がどのように独自のイメージとして描写し、作品に表現したかを探り紹介する近現代美術家・文学者・演劇集団によるグループ展。	9/25-12/5（62日間）	14,274人
第33回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員：室山まゆみ（漫画家） 出品点数：245点	12/18-1/23（26日間）	2,889人
塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかずにはいられない！人生絵日記	熊本県出身の素朴派の画家、塔本シスコの過去最大の回顧展。あふれる喜びや夢をベースに自らが育てた花、生き物、家族、ふるさと熊本の風景を、キャンバスにとどまらずあらゆるものに描いた約200点を紹介。	2/5-3/31（46日間） 4/1-4/10（9日間）	5,639人
<b>合計</b>			<b>54,209人</b>

※ 第32回熊本市市民美術展については、エで再掲

2 小ギャラリー（ギャラリーⅢ・井手直通記念ギャラリー）における展覧会

(1) ギャラリーⅢ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
豊田有希写真展 あめつちのことづて 令和2年7月豪雨REBORNプロジェクト	水俣病の被害が現代になってわかった芦北町黒岩地区の人々の、昔ながらの素朴な暮らしが残る農作業や祭り、食卓、ポートレートなどを撮った「あめつちのことづて」と八代市坂本町の古い写真ネガをレスキューし、再プリントする「REBORNプロジェクト」を紹介。	4/1-4/4（4日間） (R3.1/20-4/4（65日間）)	109人
本と人と作品の空間を考える04 シーリングファン	本と当館の所蔵作品を展示したギャラリーⅢ、本とアートワークを有するホームギャラリーという、本と美術のある二つの空間全体に、宮内優里によるBGMを流した。（入場者数はギャラリーⅢのみの数値）	4/7-6/6（うち18日間開場） ※4/27-6/6（35日間）閉場	810人
千原真実個展 風景、片鱗	熊本県出身の若手作家、千原真実の個展。近年作家が取り組んでいる「絵と絵のまわり」というテーマのもと、絵画にとつての支持体である「壁」をコラージュの要素として用いた新作を中心に展示。	6/12-8/29（うち53日間開場） ※6/12-6/29（15日間）閉場 ※8/23-8/29（6日間）延長	5,038人
CAMKコレクション展 不思議な部屋	所蔵作品から、倉重光則、前田信明、星加民雄の三作家による、具体的なモチーフを描くのではなく、人の知覚そのものにフォーカスして働きかけてくる作品計5点を展示。	9/5-10/31（49日間）	4,317人
くまもとアートポリス建築展2021 みんなの家、後世につなぐ復興	熊本県の「くまもとアートポリス」事業が取り組んできた「みんなの家」を中心とする人と人とのつながりを大切にしたい復興への取り組みを振り返る展覧会。日比野館長と曾我部アドバイザーのトークも実施。	11/3-1/16（59日間）	4,015人
熊本県立劇場『夕鶴』公演スピンオフ企画 サイドにカッコいいダンサーを——For creating a dance	会期中、熊本県立劇場で上演されたオペラ『夕鶴』（演出：岡田利規）に際し、ダンスで参加している岡本優（TABATHA）の企画協力のもと、スピンオフ企画を実施。『夕鶴』に関する資料や岡本のダンス作品の映像を紹介。	1/19-3/13（47日間）	1,786人
太田三郎 切手に種をのせて	切手を用いた作品で知られる太田三郎（岡山県在住）の個展。同時期に開催の「くまもと花と緑の博覧会」に際し、植物の葉や種子をモチーフとした太田の代表的な作品を展示。	3/19-3/31（11日間） (R4.3/19-6/5：69日間)	766人
<b>合計</b>			<b>16,841人</b>

(2) 井手直通記念ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
CAMKコレクション展 穴・距離	〈穴〉や〈距離〉をテーマに、宮崎静夫、横山博之、三浦洋一の絵画6点と川島清の彫刻1点を展示。	4/1-4/4 (4日間) (R3. 1/20-4/4 : 65日間)	109人
あの時、何食べた？ 「丸尾の食卓」アーカイブ展	2016年に当館で開催した「丸尾の食卓」のアーカイブ展。熊本地震後、天草の若手陶芸家・丸尾三兄弟（金澤佑哉・宏紀・尚宜）が参加者に1人1枚器をさし上げるかわりに、その人の食卓の写真を撮って送ってもらい、ギャラリー内に展示した当時の写真を再構成した。	4/7-4/26 (23日間) ※4/27より開場	810人
千原真実個展 風景、片鱗	熊本県出身の若手作家、千原真実の個展。近年作家が取り組んでいる「絵と絵のまわり」というテーマのもと、絵画にとつての支持体である「壁」をコラージュの要素として用いた新作を中心に展示。	6/12-8/29 (うち53日間開場) ※6/12-6/29 (15日間) 開場 ※8/23-8/29 (6日間) 延長	5,038人
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展 〔第5回〕	熊本地震で被災した収蔵作品のコンディションチェック作業を、一般来館者に公開で行うことを中心とした企画。前後期で展示替えを行い、総展示点数は9点。	9/4-10/30 (50日間)	4,317人
所蔵作品展 テーマ：冬	「冬」をテーマに、荒木経惟、神野大光、日比野克彦、藤本高廣ZUBE、松田澄夫、こみねゆら、田代淳湿の作品13点を展示。	1/19-3/27 (60日間)	2,565人
CAMKコレクション展 反復、リズム	「反復」「リズム」をテーマとした所蔵作品展。牛島憲之、黒木重雄、長尾紀壽、名護朝和、野田哲也、秀島由己男、藤岡祐機の作品合計21点を展示。	3/30-3/31 (2日間) (R4. 3/30-6/5 : 60日間)	126人
<b>合計</b>			<b>12,965人</b>

3 フリーゾーン・階段ギャラリー等における展覧会

(1) フリーゾーン

展覧会名	展覧会内容	期間
『サルママ』特別開架	「段々降りてゆく」展の関連プログラムとして、宮崎で発行されているミニコミ誌『サルママ』全号を同展の会期中ホームギャラリーで特別開架した。	4/1-6/13 (うち23日間開場) ※4/27-6/13 (41日間) 開場

(2) 階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間
大城組（おおきぐみ）の巨匠たち展	熊本市の支援学級で長年教鞭をとる大城先生とその教え子たちによる作品展	8/1-8/21 (18日間)
熊本友の会 幼児生活団〈熊本〉	幼児生活団体〈熊本〉の活動の中で作られた造形作品等の展示	9/2-9/29 (24日間)
鎮西高等学校作品展示「卒展」	鎮西高等学校のグラフィックデザイン系科目を選択する生徒の卒業作品展	10/30-11/5 (6日間)
こわいな！恐怖の美術館展×Fluid Art	熊本県立大学丸山ゼミが「こわいな！恐怖の美術館」展に着想を得て企画したワークショップの成果展示。	11/22-12/6 (13日間)
熊本大学教育学部附属 特別支援学校 中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品	12/11-1/6 (17日間)
3.11つなぐ メッセージカード展示	東日本大震災の記憶をつなぐために被災地等の中学生が書いたメッセージカードを展示。	3/2-3/11 (9日間)

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか（商店街等）における公演

(1) 作品上映会

演 題	展 覧 会	内 容	開 催 日	参加者数
「つれ潮」特別上映	段々降りてゆく	「段々降りてゆく」展関連プログラムとして、同展出品作家である山内光枝の監督作品を特別上映 ※定例映画上映会「月曜ロードショー」を兼ねる	4月12日	33人
			5月3日 ※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	-
<b>合 計</b>			<b>1回</b>	<b>33人</b>

(2) パフォーマンス

演 題	展 覧 会	内 容	開 催 日	参加者数
宮内優里 [BGM演奏] 換わる音、漂う音	シーリングファン	宮内優里によるBGM演奏	4月17日	-
宮内優里 [BGM演奏] 換わる音、漂う音	シーリングファン	宮内優里によるBGM演奏	4月18日	-
南無サンダーの演劇お化け屋敷	こわいな	南無サンダーによるお化け屋敷内を舞台とする演劇公演	10月10日	100人
南無サンダーの演劇お化け屋敷	こわいな	南無サンダーによるお化け屋敷内を舞台とする演劇公演	11月14日	100人
<b>合 計</b>			<b>4回</b>	<b>200人</b>

ウ 講演会、トークショー、ギャラリートツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1) アーティスト・トーク

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
豊田有希アーティスト・トーク	あめつちのことづて	豊田有希 (出品作家)	出品作家によるトーク	4月3日 (1月23日より延期)	19人
田名網敬一アーティスト・トーク	こわいな	田名網敬一 (出品作家)	出品作家によるトーク(ドキュメントによるオンライン中継)	10月1日	16人
いしいしんじ朗読ライブ	こわいな	いしいしんじ (出品作家)	出品作家による作品朗読とペープサート人形劇	11月23日 (9月26日より延期)	44人
コーダ・ヨーコ アーティストトーク+ギャラリートツアー	こわいな	コーダ・ヨーコ (出品作家)	出品作家によるトークとギャラリートツアーの同時開催	11月20日 (9月25日より延期)	14人
合計				4回	93人

(3) 講演会

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
審査員講演会	第33回熊本アートパレード	室山まゆみ (漫画家)	第33回熊本アートパレードの審査講評と、テーマ「むちゃぶり」にちなんだ、漫画家としての自身の仕事を紹介。	12月18日	48人
認知症対象 対話型鑑賞プログラム オンラインレクチャー	塔本シスコ展	林容子 (アーツアライブ)	認知症の方を対象とした対話型鑑賞を手掛ける林氏によるオンラインレクチャーと講演会	1月26日	26人
合計				2回	74人

(4) ギャラリー・トーク

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
段々降りてゆく	5月29、30日	佐々木玄太郎(当館学芸員)	Instagramのインスタライブを使って、「段々降りてゆく」展の会場内を解説しながら案内。	-
こわいな	10月1日	富澤治子(当館学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するツアー(田名網敬一アーティストトークと同時開催)	16人
こわいな	11月20日 (9月25日より延期)	富澤治子(当館学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するツアー(コーダ・ヨーコアーティストトークと同時開催)	14人
塔本シスコ	3月27日 ※まん防解除後 試験的に実施	坂本顕子(当館学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するツアー	20人
合計	5回			50人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第33回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員:室山まゆみ(漫画家) 出品点数:245点	12/18-1/23(26日間)	2,889人
合計			2,889人

オ 他館での企画展事業支援

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み解く19世紀末展 長崎3部作(長崎歴史文化博物館)	長崎国際テレビ主催、共催長崎歴史文化博物館の展覧会に、企画協力として関わった。当館で開催した高浜寛展をベースに、長崎歴史文化博物館の収蔵品と、高浜私物を足した拡大展示。アーティストトークは2回開催、うち初日のトークは、富澤学芸員が登場。	R4.1/15-2/13(29日間) ※コロナ対策により 開館時間の短縮有	1,828人
合計			1,828人

カ 災害復興支援事業

1 災害が発生した際、公1事業の収益を活用し、当財団から被災地の自治体等へ支援や寄付を実施

※令和3年度は寄付を行っていない

公益目的事業

公2：美術館等における文化芸術の調査研究等事業 【令和3年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
美術館・文化芸術全般について	和田誠展
	不思議の森に棲む副服 ひひのこづえ×KUMAMOTO 展
	Paper かみと現代美術
	坂口恭平日記
	「段々降りてゆく」展における外山恒一展示検討の記録
九州又は熊本ゆかりの作家について	田口Boss、小林啓治ほか、九州内各県の作家調査
熊本ならではの文化や歴史について	生人形ほか
市収蔵作品、他館からの借用作品について	市収蔵作品（井手宣通ほか）についての調査研究
	段々降りていく展・テオ・ヤンセン展・こわいな展・塔本シスコ展の出品作品調査

調査研究内容の公表方法	実 績		
展覧会、講演、紀要・論文等	展覧会及び図録の発行・講演会等の開催による公表		
	熊本市現代美術館2019年度年鑑【アートガマダスVol.19】web掲載		
	「段々降りてゆく」展における外山恒一展示検討の記録 web掲載		
ホームページによる公開	市収蔵作品リスト	1,548点	
展示公開、貸出、特別利用（市収蔵作品）	熊本市現代美術館における展示公開	46点	
		合計10点	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	安本亀八	相撲生人形
		横尾忠則	暗夜光路
		田部光子	人工胎盤
		藏本朝美	水車
		藏本朝美	火口壁
		塔本シスコ	ふるさとの海
		田代順七	初秋の庭
		春口光義	瓦と鉄力とココロ
		淵田安子	蝶と皿と魚
		矢田道也	形口
	特別利用（熟覧・撮影等）	3点（熟覧）、3点（撮影）	
		合計18点	
	作品画像貸出件数	横尾忠則 《暗夜光路》	1件
		田部光子 《人工胎盤》	2件
		藏本朝美 《水車》	2件
		藏本朝美 《火口壁》	1件
		奥井喜美直 《希望の塔の見える風景》	1件
		松本寛庸 《天の川》	1件
松本寛庸 《彗星はやぶさ》		1件	
松本寛庸 《サグラダファミリア》		1件	
松本寛庸 《バロック建築》		1件	
松本寛庸 《さかなのオリンピック・聖火台》		1件	
塔本シスコ 《ふるさとの海》		1件	
田代順七 《初秋の庭》		1件	
春口光義 《瓦と鉄力とココロ》		1件	
淵田安子 《蝶と皿と魚》	1件		
矢田道也 《形口》	1件		
安本亀八 《相撲生人形》	1件		
館内での閲覧（図書資料等）	ホームギャラリー、アーツスカイギャラリー、キッズサロンにおける閲覧		
借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供		

公表方法（つづき）	実績			
館外での発表、寄稿	4月	寄稿「その土地の芸術一段々降りてゆくー九州の地に根を張る7組の表現者」	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
		寄稿「熊本の町は今 見えない誰かとつながる」	熊本日日新聞朝刊	坂本
	5月	講演「地域におけるアートプロジェクトについて」	東京藝術大学美術学科授業リモート出演	岩崎千
	8月	寄稿「小さな町で美術を耕すー小国町・坂本善三美術館と地域住民たちの数々の試み」	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
		講演「ちくごアートファーム計画2021 はたらくアート」アートスタッフプログラム 第4回：キュレーターの話をお聞き	九州芸文館 ※オンライン開催	坂本
	9月	塔本シスコ展カタログ寄稿「シスコのふるさと、そして子ども時代」	国書刊行会	坂本
		名もなき実昌インタビュー記事	『美術手帖』2021年10月号、美術出版社	佐々木
		寄稿「自立の先へ」	『秋の種2020 しまうちみか展 自立について 世界は想像した以上に私を受け入れてくれるはずである 記録集』2021年、秋の種2020企画委員会	佐々木
	10月	こわいな展寄稿「安心と解放 たどり着く契機に」	熊本日日新聞朝刊	富澤
		トーク+ディスカッション「アートは、災禍に、どうかかわるのか？ー異なる災禍へのかかわりから」	アーツカウンシル東京 ※オンライン開催	坂本
	12月	寄稿「海山ののさり（恵み）のなかで託された表現たちー柳幸典《石霊の森》／塔本シスコ展 シスコ・パラダイス」	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
		編集・執筆「渡邊義紘作品集 ORIHA」	熊日出版	坂本
		口頭発表「作為文化発源地的九州煤礦」	オンラインフォーラム「公共芸術国際教育研究会 暨 城市更新与公共芸術發展論壇」（主催：遼寧省美術學研究生創新与學術交流中心、魯迅美術學院）	佐々木
		口頭発表「『段々降りてゆく』展における外山恒一展示計画」	フォーラム「地域×アート×キュレーションの行方」（主催：佐賀大学芸術地域デザイン学部 花田研究室）	佐々木
	1月	講評「アートスタッフによる哲学カフェ」	九州芸文館「CAF2021はたらくアート」	坂本
		講演「高浜寛アーティストトーク（聞き手として登壇）」	長崎歴史文化博物館での「高浜寛展」関連イベントでの講演	富澤
		口頭発表「Hotel Asia Project in CAMK」	オンライントーク「連結と流動、亞洲今日風景」（成都時代美術館主催）	佐々木
	2月	講義「ミュージアムIPMについて」	熊本県博物館ネットワークセンター主催の第2回スキルアップ研修会での講義（オンライン）	富澤
		出演・解説「塔本シスコ シスコ・パラダイス」	NHK「日曜美術館」	坂本
	3月	寄稿「熊本市現代美術館×熊本市動植物園 市民とつくるアートプロジェクト」	熊本市動植物園公式ガイドブック	富澤
		寄稿「こわいな！恐怖の美術館展」	デアルテ38号	富澤
		寄稿「VOCA2021 現代美術の展望ー新しい平面の作家たち」寄稿（加藤笑平解説）	上野の森美術館	坂本

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内 容		点 数 等		
作品管理	市収蔵作品の管理・保管（貸出はアの公表方法に記載）	1,548点		
	市収蔵作品購入予備調査及び報告	36点		
	作品データ管理・整備	公開作品 1,548件		
図書資料管理	図書資料等の収集	開架用書籍（絵本、漫画等含む）	171冊	259冊
		刊行物	23誌	
		研究書（展覧会企画、調査等に利用）	59冊	
		映像・音楽資料	6本	
	図書装備	装備	0冊	42冊
		コーティング	42冊	
	図書資料データ管理	一般図書（絵本、漫画等含む）	30,376件	32,696件
		逐次刊行物	276件	
		映像資料（CD等含む）	2,044件	

公益目的事業

公3：美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業 【令和3年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1) ワークショップ

展覧会	開催日	タイトル	講師等	内容	参加者数
テオ・ヤンセン展	2021/6/27 ※コロナのため、WSは中止。デモとキット販売のみ。	〔ワークショップ〕ミニビーストをつくろう！ ※〔サテライト・イベント〕@イオンモール熊本	E・J・ファクトリー (イベント会社)	ストランドビーストをイオンモール熊本1階 イーストスクエアに1日限定で展示。実際に動くストランドビーストの様子を鑑賞。 ※「テオ・ヤンセンのミニビースト」のキットを組み立てるワークショップは中止。	-
テオ・ヤンセン展	7月3日	〔ワークショップ〕ミニビーストをつくろう！ @ Sakuramachi Kumamoto プロムナード広場	E・J・ファクトリー (イベント会社)	ストランドビーストをSakuramachi Kumamoto プロムナード広場に1日限定で展示。実際に動くストランドビーストの様子を鑑賞。 「テオ・ヤンセンのミニビースト」のキットを組み立てるワークショップも実施。	-
テオ・ヤンセン展	7月4日	〔ワークショップ〕ミニビーストをつくろう！ @上通アーケード入り口 びぶれす広場	E・J・ファクトリー (イベント会社)	ストランドビーストをSakuramachi Kumamoto プロムナード広場に1日限定で展示。実際に動くストランドビーストの様子を鑑賞。 「テオ・ヤンセンのミニビースト」のキットを組み立てるワークショップも実施。	-
テオ・ヤンセン展	7月11、18、25、31日、8月1日 計17回	〔ワークショップ〕ミニビーストを作ろう！	E・J・ファクトリー (イベント会社)	「テオ・ヤンセンのミニビースト」のキットを組み立てるワークショップ。	309人
千原真実個展 風景、片鱗	8月22日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	コラージュ・ワークショップ 「つなげてつなげて・・・カラフル・ライン！」	千原真実 (出展作家)	コラージュの面白さを体験するワークショップ。小さなキャンバス片をつなげて「線」を作る。カラフルな線をキャンバス布にコラージュし、文庫本サイズのブックカバーに仕上げる。	-
こわいな展	11月7日	コーダ・ヨーコ あしたを運ぶ鳥を描こうワークショップ	コーダ・ヨーコ (出展作家)	コーダが展示に実際に使用している木製の鳥型パネルに、各参加者が彩色するワークショップ。 ※コロナ対策としてzoomでの参加対応あり	13人
サイドにカッコいいダンサーを	3月13日 ※2月20日より延期	岡本優〔ワークショップ〕自分を踊る	岡本優 (TABATHA)	自分をテーマに、自分自身が生きてきた／生きている場所・時間・時代から着想を得て、自分を踊るワークショップ。	11人
太田三郎 切手に種をのせて	3月19日	〔ワークショップ〕春の江津湖で種さがし	太田三郎 (出展作家)	くまもと花とみどりの博覧会の「水辺エリア」である江津湖にて、植物の種を探すワークショップ。フィールドワークの後、見つけた種で切手のデザインを行う。	8人
合計	22回				341人

(2) 市民公募型作品制作

展覧会	開催日	演題	講師等	内容	参加者数
-		-	-	-	-
合計	0回				0人

2 美術館ツアー、出張授業等

1) 美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	3団体	17人
小学校	24団体	284人
中学校	10団体	88人
高校	4団体	120人
短大	-	-
大学	3団体	51人
専門学校	10団体	287人
一般	-	-
<b>合計</b>	<b>54団体</b>	<b>847人</b>

(2) 視察

団体名	開催日	市担当課等	内容	参加者数
全国市議会議長会	10月18日	熊本市議会	※新型コロナウイルス感染拡大のため中止	0人
<b>合計</b>	<b>0回</b>			<b>0人</b>

(3) アウトリーチ

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
-	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>0回</b>			<b>0人</b>

2) 美術館をより身近に感じてもらう次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1) アートプログラム

種別	開催日	対象者	内容	参加者数
出張レクチャー	5月10日、5月14日、10月18日、10月22日	熊本デザイン専門学校	美術館や展覧会に関する学芸員の出張授業	280人
テオ・ヤンセン展オンラインツアー	9月3日	城西小学校	城西小学校の児童を対象にしたオンラインツアー	80人
テオ・ヤンセン展オンラインツアー	9月8日	熊本市教育委員会	熊本市の不登校の児童生徒を対象にしたオンライン学習支援	40人
テオ・ヤンセン展オンラインツアー	9月10日	川口小学校	城西小学校の児童を対象にしたオンラインツアー	20人
出張レクチャー	11月3日	菱形小学校（ひまわり学級）	美術館や展覧会に関する学芸員の出張授業（こわいな展鑑賞前の事前学習）*zoomで開催	8人
塔本シスコ展オンラインツアー	3月16日	熊本市教育委員会	熊本市の不登校の児童生徒を対象にしたオンライン学習支援	40人
<b>合計</b>	<b>9回</b>			<b>468人</b>

(2) アートバス

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
鑑賞	※中止	本荘小学校（3-4年生）	テオ・ヤンセン展鑑賞	-
鑑賞	11月12日	菱形小学校（ひまわり学級）	こわいな展鑑賞	8人
鑑賞	11月17日	本荘小学校（3-4年生）	こわいな展鑑賞	17人
鑑賞	※中止	豊川小学校（5-6年生）	シスコ展鑑賞	-
鑑賞	3月18日	川口小学校（5年生）	シスコ展鑑賞	9人
<b>合計</b>	<b>3回</b>			<b>34人</b>

(3) その他

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
博物館実習 ※ZOOMとリアル併用で実施	8/21-8/27 (6日間)	各大学	学芸員を志す学生に向けた実習	6人
<b>合計</b>	<b>1回</b>			<b>6人</b>

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
建築	12月23日	熊本まちなみトラスト	崇城大学・県立大学・学園大学の建築都市系の大学合同ゼミ。学生の卒業論文の合同講評会。	15人
音楽	10月9日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO 実行委員会	JAZZ OPEN 2021 熊本の中心市街地各所でおこなわれるジャズの祭典。美術館では、ベテラントリオ2組が出演。	110人
音楽	12月16日		Great Composer Memorial Series Special 没後100年 サンニサーンス 偉大な作曲家の命日にその作曲家を偲び開催するコンサート。熊本ゆかりの演奏家およびゲストが出演。	58人
音楽	1月14日		Great Composer Memorial Series アストル・ピアソラ「ブエノスアイレスの四季 vol.1 “冬”」 偉大な作曲家の命日にその作曲家を偲び開催するコンサート。熊本ゆかりの演奏家およびゲストが出演。	48人
音楽	3月12日		GENESIS 2 熊本の中心市街地各所を舞台に、多彩な表現がクロスするイベント。美術館では肥後琵琶、アルゼンチンタンゴ、ピアノ、津軽三味線、ピアノとサイレントチェロのDUOが出演。	63人
音楽	3月25日		Great Composer Memorial Series ベートーヴェン、ドビュッシー、ラフマニノフ 偉大な作曲家の命日にその作曲家を偲び開催するコンサート。熊本ゆかりの演奏家およびゲストが出演。	42人
<b>合計</b>	<b>6回</b>			<b>336人</b>

2 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築（アートでつながる交流・連携）

内容	詳細
ART KISS LETTER	当館で開催する展覧会の各種情報等を掲載するフリーペーパー。通年で5回（98-102号）発行した。

1) 行政とともに行政推進・補完のための政策課題の解決

2) 市民とともに異分野（まちづくり、福祉、教育等）の課題解決

(1) 文化活動支援

種別	開催日	連携機関	内容
「くまもと いぐさ_まちかざり」作成・展示	9月6日	全国い産業連携協議会、熊本県農業研究センターアグリシステム総合研究所、(株)日比谷花壇、熊本県立大学	熊本の特産品である畳表の普及振興のため、熊本県立大学の学生たちによるい草のインスタレーションを作成するための打合せ、下見、展示（12/1-1/10）
	9月29日		
	10月27日		
	11月30日		
	1月11日		
MOBILE LEGO RAMP PROJECT	9月10日	WE DO くまもと 熊本市道路計画課、都市デザイン課	移動しやすく歩いて楽しめるまちを実現するために、グリーンベルト構想への意識を高めるため、日比野館長も交えた打合せを行い、レゴブロックによるスロープ作り体験ワークショップ（11/28）を開催。
	11月2日		
	11月28日		
日比野館長の御用聞き（懇談、課題相談等含む）	11月26日	熊本市 ・市街地整備課 ・文化政策課 ・道路保全課 ・国際課 ・教育委員会 ・政策企画課	市役所各課に日比野館長が伺い、各課の課題や悩みを聴き、柔軟な考え方や異なる角度で対話することで、職員自らが新しい視点や前向きな思考を得ることや、アートが介在することや課題と課題を繋げることによる解決の糸口を探る。（ウォークアブル推進都市、アート思考推進、地下通路リニューアル、フェアトレードシティ、教育エコシステム、第8次総合計画策定準備等）
	1月25日		
	1月26日		
	2月4日		
	2月5日		
3月13日			
アジア太平洋水サミット	10月22日	熊本市水サミット推進室	水サミット関係のワークショップの立案相談
成人式映像制作	11月27日	熊本市生涯学習課	熊本市成人式で上映する映像を市と協働で制作
ミュージアム I P M 指導および作品調査	4月10日	和水町	和水町所蔵の秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査
	6月12日		
	7月31日		
	10月30日		
いしいしんじ著『100ものがたり』発行	11月20日発行	橙書店	こわいな展出品作家のいしいしんじの書き下ろし小説「100ものがたり」（出品作品）を、橙書店と連携し、書籍として発行。
<b>合計</b>	<b>22件</b>		

(2) ネットワーク構築

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
熊本県立劇場役員候補者選考委員会	4月5日	公益財団法人熊本県立劇場	熊本県立劇場の役員候補者の検討会議
	5月31日		
熊本県文化協会 常任理事会 文化懇話会世話人会・総会	4月9日	県内の文化関係団体と 市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団体等との情報交換等
	7月9日		
	10月7日		
	11月12日		
	12月9日		
熊本市文化創造協議会	4月30日	熊本市文化政策課	地域文化振興を図る諸団体・機関等の相互の連絡調整会議
熊本県立美術館 友の会	-	友の会世話人会 県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営
RKK 番組審議会	4月7日	RKKに委嘱されたメンバーとして、富澤学芸員のほかは、熊本保険科学大学学長、尚綱大学学長、熊本県伝統工芸館理事長・館長、錦戸企業グループ専務取締役、熊本県ユニセフ協会実行委員、熊本学園大学教授、熊日デジタル編集部長の8名	毎月、RKKが提案する番組内容を審議することで、熊本県下の放送文化の向上に寄与するもの*5月、6月、9月、10月、2月、3月はコロナ禍拡大により書面で審議が行われた。
	5月12日		
	6月2日		
	7月7日		
	9月1日		
	10月6日		
	11月10日		
	12月1日		
	2月2日		
	3月2日		
地域創造「公立美術館活性化事業企画検討委員会」	1月24日	地域創造	全国の中小の地方公立美術館の企画カアップのための巡回展提案・審査・内容等の指導に関わる委員会
	3月4日		
木下晋×村田喜代子講演会	3月27日	なかお画廊	収蔵作家・木下晋氏の対談での冒頭あいさつ
<b>合 計</b>	<b>21件</b>		

(3) 審査・表彰

審査対象	開催日	主 催 者	内 容
令和3年度心の輪を広げる作文・ポスターコンクール	9月6日	熊本市障がい保健福祉課	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指し、障害や障害のある人に対する国民の理解と関心を深めることを目的とした「障害者週間のポスター」審査、講評
くまもと「描く力」チャレンジ部門審査	10月10日	熊本日日新聞社	熊本県を中心とした熊本日日新聞社主催の美術・デザインの公募展のうち、九州・沖縄エリア内の学校に通う高校生を対象とした部門の審査
「VOCA2021 現代美術の展望－新しい平面の作家たち」推薦	11月1日	VOCA展実行委員会	40才以下の平面作品の制作を行う現代作家の推薦を行うもの
第46回熊本県高等学校美術展 審査	11月1日	熊本県高等学校文化連盟美術専門部 熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会	熊本県高等学校美術展の特別賞の一つとして「熊本市現代美術館賞」を選定
「令和3年度熊本市高校生消費者啓発ポスターコンテスト」の審査・講評及び表彰	12月15日 2月9日	熊本市消費者センター	成人年齢引き下げに伴う、若者への消費者啓発の一環として行う、高校生を対象としたポスターコンテストの審査、講評及び表彰
MEIJIKANアーティスト・イン・レジデンス作家選定	3月13日	MEIJIKAN	福岡県八女市にあるアートホテルMEIJIKANのレジデンス作家選定審査を行うもの
<b>合 計</b>	<b>7件</b>		

(4) まちづくり協力

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
2021上通アートプロジェクト「テオ・ヤンセン展」	7月3日-9月12日	上通商栄会	上通（追って下通・新市街を追加）の加盟店舗を対象にポスター掲示や半券サービス等を行った	—
上通 まちゼミ	8月7日	上通商栄会	第8回上通まちなかゼミナール 実施前説明会 (zoom)	—
	9月24日	上通商栄会	第8回上通まちなかゼミナールへの参加。「こわいな展」の見どころを紹介するレクチャーを実施。	6人
全国都市緑化フェア くまもと花とみどりの博覧会連携協力	—	公園課 全国都市緑化フェア推進室	全国都市緑化フェアの開催に合わせた協力 ①連携事業の実施 「シスコパラダイス」「太田三郎展」 ②美術館植栽の整備 ③ニコライ・パーグマンフラワーボックス制作場所提供	—
<b>合計</b>	<b>3件</b>			<b>6人</b>

3 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための会議、講演会等

(1) 美術館が行うクリエイティブなまちづくり研究

種別	開催日	主催・共催者	内容	参加者数
東京藝大「I LOVE YOUプロジェクト」×熊本市現代美術館体験型シンポジウム「災害時のアートインフラを考える」	6月22日	東京藝術大学（協力・助成）	令和2年7月豪雨から1年を前に、災害時にアートがどのように機能するか日比野克彦館長をコーディネーターに、長江浩史氏、金澤佑哉氏、松岡優子氏、佐藤かつあき氏をゲストに、東京藝大の上川桂南恵による企画、展示、グラフィックレコーディングによるシンポジウムを行った。※配信あり	100人
くまもとアートポリス2021×熊本市現代美術館「これからの公共建築、災害時のアートインフラを考える」	11月27日	くまもとアートポリス2021実行委員会	アートポリス建築展の関連事業として、同アドバイザーの菅我部昌史氏と日比野館長によるトークを行った。※配信あり	50人
若年層への情報伝達・広報等に関する意見交換及び実証実験	5月27日	熊本県立大学	熊本県立大学地域連携政策センター長、総合管理学部教授と研究室の学生との、広報や若者の心理等に関する意見交換、「こわいな」展を活用した実証実験として、SNSの運営（9/25-12/5）、ワークショップの実施（12/20）、階段ギャラリーでの展示（11/23-12/6）	30人
	8月5日			
	10月18日			
	11月11日			
	11月20日			
	12月11日			
姜尚中熊本県立劇場館長×日比野克彦熊本市現代美術館館長トーク	10月20日	熊本日日新聞社 熊本県立劇場	日比野館長の就任を受け、県立劇場の姜尚中館長とのトークを企画し、熊本日日新聞紙面に掲載。合わせて、県立劇場の季刊誌『ほわいえ』にも掲載。	—
<b>合計</b>	<b>9回</b>			<b>180人</b>

【その他】

種 別	実施日	相手方	内 容	結 果
熊本市改革プロジェクト推進課との意見交換	4月21日 5月10日 6月28日 10月7日	熊本市 改革プロジェクト推進課 文化政策課	熊本市の外郭団体（当財団）の経営についての意見交換	熊本市の外郭団体のあり方について議論（コロナ対応で中段、継続審議）
所管課との勉強会	5月26日 6月30日 7月21日 8月18日 9月29日 10月21日 11月18日	熊本市文化政策課	熊本市現代美術館の指定管理運営に関する所管課との勉強会	「熊本市現代美術館の指定管理料査定方法に対する要望書」を作成・提出。（下記記載）
公益法人立入検査	11月17日	熊本県教育政策課	公益法人の運営状況・事業活動に関する立入検査	特に改善等の指示なし
「熊本市現代美術館の指定管理料査定方法に対する要望書」提出	12月22日	熊本市長	熊本市現代美術館の指定管理料査定方法に対する要望書」として、以下3点の見直しを要望 1. 人件費の担保及び人材の確保 2. 経年変化を踏まえ、実態に沿った査定方法と費用の担保 3. 利用料金収入の積算方法の見直し	現在、文化政策課・改革プロジェクト推進課・資産マネジメント課・財政局との協議継続中。